

技術士二次試験準備 公開無料セミナー
 おもしろいほど合格できる技術士二次試験

コンピテンシー&コーチング指導

技術士合格への道研究所
 2009.12.30

技術士試験とは

試験官がものづくりの判断や成功体験、受け答えを通して技術者コンピテンシーを見る



コンピテンシーとは

- ❑ 高い業績をコンスタントに示している人の行動特性
- ❑ 単なる能力ではなく「成果につなげる」という視点
- ❑ コンピテンシーは実用化されている。国家公務員試験
 どう思う、何ができるかではなく、どう行動したか

- ① 積極性 (意欲、行動力) ② 社会性 (他者理解、関係構築力)
- ③ 信頼感 (責任感、達成力) ④ 経験学習力 (課題の認識、経験の適用)
- ⑤ 自己統制 (情緒安定性、統制力) ⑥ コミュニケーション力 (表現力、説得力)
- ❑ コンピテンシーにはレベルがある。5段階のレベル
 レベルを段階的に上げていけばよい

コンピテンシー 合格力

- ❑ 試験官は受験者のコンピテンシーを直接測れない
- ❑ 受験者が、技術コンサルタントとしてクライアントに提供する技術サービスだから
- ❑ 試験官は現時点の受験者から未来予測するしかない
 受験者が未来に手掛ける不特定多数のケースでの問題解決の善し悪し
 体験論文は過去の「栄光」を見るためじゃない

技術者コンピテンシーとは何か？

- ❑ 技術者にふさわしい経験
- ❑ 技術問題に対する正しい判断
- ❑ 技術応用力
- ❑ 臨機応変な対応力
- ❑ 広い見識、考察力
- ❑ 問題解決・課題達成のプロセス
- ❑ 技術コンサルタントとしての対応力
- ❑ 専門家としての使命感
- ❑ 技術者倫理

技術者コンピテンシーは試験で「測定」される

- ❑ 技術者にふさわしい経験
 - ❑ 技術問題に対する正しい判断
 - ❑ 技術応用力
 - ❑ 臨機応変な対応力
 - ❑ 広い見識、考察力
 - ❑ 問題解決・課題達成のプロセス
 - ❑ 技術コンサルタントとしての対応力
 - ❑ 専門家としての使命感
 - ❑ 技術者倫理
- } 申込書、業務経歴
 } - 1,2
 } 体験論文
 } 口頭試験

コーチングとは何か？

- 相手の中から答えを引きだす
ヒアリングによって受講者様の体験、知識の中から答えを引きだします。
混乱している問題をほくす
答えられる質問をする
不満を提案に変える挑戦
- 安心感と自信を与える
感じた気持ちを話す
強みを活かす方法を提案します
- 未来への夢を掲げる
目標についてたくさん話すこと
- 新しい視点を与える
- 自発的な行動を促す

技術士合格戦略

1. 試験申込書
戦いは試験前から始まっている
2. 筆記試験
3回、4回受験は当たり前、不合格原因からわかる合格必勝法
3. 体験論文
技術士にふさわしい業績がなければどうする

1. 合格できる申込書、業務経歴とは

- 「優れた技術コンサルタント」であることが一目でわかる
- チェックポイント
技術士法で定めた業務を行っている
貢献や成果を読み取れる
技術が応用されていることが分かる



2. 合格できる筆記試験対策法

- (1) 予想の山が外れないように広範囲で予測する(山を張らない)
- (2) 下書きを書いて題意に柔軟に対処する(臨機応変さ)
- (3) 添削+コーチングで正しい考え方をスピーディーに理解する
- (4) チェックシート等で添削・修正サイクルを早める
- (5) オリジナル応用問題で練習する(総合技術監理の場合)

知らないと損をする、試験の実態

筆記試験不合格の原因

- 準備段階で合格レベルに到達できない。
問題が要求するケーススタディーに上手に対応できない
自分の実務をそのまま当てはめてしまう
試験で求めていることに絞込んだ単純化できない
- 出題者のねらいが何か分からない
問題としていることが何か、主要課題がつかめない
要求していることに答えないで、聞かれていないことを答えている
答案中にあるヒントや伏線を読み取って応用できない
- 当日、試験場でよい答案ができない
臨機応変に問題に対処できず、悩んでしまう

筆記試験合格対策

- (1) 問題に対する柔軟な解答方法を学ぶ
問題を予測しても始まらない
その場で考えて答えられる考察力
下書きを書いて骨子まとめる
- (2) 正しい推論力をつける
誤りをスピーディーに修正する
添削+コーチングで学ぶ
- (3) 問題を短いサイクルでこなす
チェックシート等で添削・修正を早める
- (4) 新出問題に驚かない
最新の課題をマスターする

3. 合格体験論文はチェックリスト

1. 業績はほんとに自分でやったか？
詳細仕様、貢献、結果、成果 **概要**
2. ちゃんと考えて結果を導いたか？
正しい検討過程、わかりやすさ **課題、問題、提案**
3. 技術は応用したか？
各部門の固有技術を応用しているか **提案**
4. 成果は得られたか(効果の確認は)？
原理的に成果が得られているか **技術的成果**
5. 専門家としての考えはあるか？
経験、見識、指導力、判断力… **評価、今後の展望**

技術士にふさわしい業績がなければどうする

- 技術士にふさわしいとは何か
技術応用、成果、独創性、汎用性
- 類似の業績(経験)の探索
- 技術者コンピテンシーを増すには

コンピテンシーの大きさ $C = M \times K \times N$

M マーケットの大きさ、波及効果

K 貢献、自分のかかわり度

N 難易度

必ず合格できる技術士講座を目指しています

1. 合格の一般論を知る ×
 2. 自分の弱点を知る
 3. 自分の正解を知る
- この3つには大きな差があります
- 正しい答えに到達する力をつける
深い理解を可能とする指導の密度
コーチング指導 これが好評です
 - 具体的な専門課題対応力を養う仕組み
講座のカリキュラム

合格者の声

- 本講座の受講前の印象と受講後の感想はどうでしたか。
- 今後、本講座を受講される方へのメッセージは？
- 技術士受験者に送るメッセージをどうぞ。

[合格者の声、合格者インタビュー>](#)

藤田様	相蘇様	KBR様	平野様	加藤様
総合技術管理部門 機械・交通機械	総合技術監理部門 建設・施工	建設部門 河川	建設部門 施工	情報工学部門 情報システム・データ工学

END